



地域医療連携室だより Vol.157



発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住 所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電 話 077-526-8192
F A X 077-522-0192 発行日:2022年6月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

新部長就任のご挨拶

健診センター 診療部長:若林 直樹



2022年4月より、健診センターの責任者を務めさせていただいております若林直樹です。
何卒宜しくお願い申し上げます。

“信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点” これは当院の病院理念です。病院理念に“健康”の二文字が含まれていることに、何故？と思われた方もおられるのではないのでしょうか？ 市立大津市民病院が目指すのは、まさに文字通り、市民にとっての健康と医療の拠り所であり、そのなかで健診センターの果たす役割は非常に大きく、責任者として身の引き締まる気持ちであります。



人生100年時代と言われる今日、皆さま誰もが抱いておられる元気に過ごしたいという願いを実現するためには、健康をチェックし、仮に問題がある場合には早めに介入するという“けんしん”システムは、欠かせません。



“けんしん”には、大きく二つあります。一つは、「健康であることの確認」である健康診断としての健診で、例えば、人間ドック健診や特定健診（メタボ健診）などがそれにあたります。もう一つは、特定の疾患を発見する目的で行われる検査・診断である検診で、例として、がん検診が知られています。もちろん当院の健診センターでは、これらの健診も検診も行っています。

今年から、がん検診・特定健診のセット検診と健康講座を一緒に受けてみませんかという特別企画も行います。「忙しくてついつい検診が後回し」という方にお得なセット検診で、検診終了後に健康講座を聴いてスキルアップしていきましょうというものです。大津市のご理解もいただき、「広報おおつ」にもアナウンスされていますので、是非ともご活用下さい。

市民とともに歩む「健康拠点」として、今後とも市民の皆さまの健康に少しでも手助けとなる情報や企画を積極的に発信していきたいと考えています。当センターでは健診においても鼻からの胃カメラを実施できるため、受診者さんに大変好評をいただいています。今後も、大腸CTや膵がん検診といった当センターならではの特徴を活かしながら、充実した健診プログラムを提供していますので、是非とも当院のホームページでの健診センターの発信に注目いただければと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。



健診センタースタッフ





新部長就任のご挨拶



感染症科 診療部長:辻 桂嗣



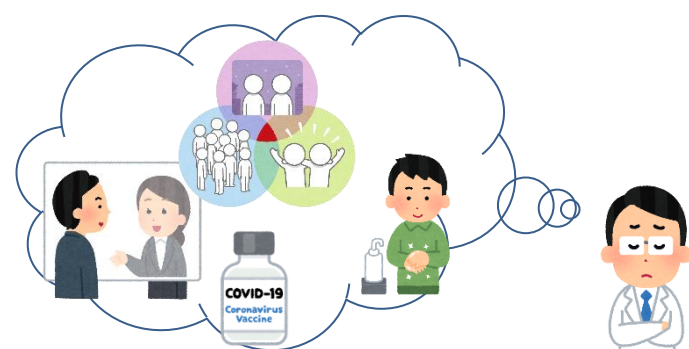
ご開業の先生方におかれましては平素より大変お世話になりありがとうございます。
令和4年4月1日より感染症科部長/感染管理室長を拝命いたしました、辻 桂嗣と申します。

2017年4月より前任の京田辺市にあります田辺中央病院より赴任し、小児科医として地域の先生方と共に大津市の子供達の健康を守るべく診療に勤しんで参りました。当院は私個人に取りましても、以前に亡き母や妻が病に倒れた際にお世話になり、最近でも義母や長男の怪我の際に駆け込んで治療してもらった事のある、“いざという時に頼れる病院”であります。小児科医としての役割に加え、感染症科/感染管理室の仕事を通して地域の先生方や患者の皆様に取りましても“頼れる”存在であり続けられるように院内の医師やスタッフと頑張りたいと思います。



さて2020年初頭からの新型コロナ感染症の世界的流行は我々の生活に絶大な影響を及ぼし続けています。市立大津市民病院は滋賀県下唯一の第1種感染症指定医療機関としてCOVID-19症例を当初から現在に至るまで受け入れ続けて参りました。内科系、外科系を問わず多くの医師、多数の看護師やスタッフが協力して診療

する体制を構築し、未知のウイルスに対する恐怖を抱きながらも戦ってきました。現在も報告されるCOVID-19患者数は減ってはおりませんが、幸い重症者はほとんど見られなくなり、政府の対策も徐々にウィズコロナの対策へとシフトしていくものと思われます。ただ現場の医療機関としては院内感染対策は簡単に緩める訳にはいかず、感染管理の責任者として悩む毎日を送っています。いかに妥協点を見いだしていくかが今後の課題になりそうです。



ご開業の先生方におかれましても日々の診療において試行錯誤を重ねて抗原検査やPCR検査での診断や治療、各種施設への支援などでご苦労頂いているかと思います。またウィズコロナ社会に移行したとしても、我々医療者は未知の変異株や更なる新型ウイルスの出現などへの備えも怠る訳には参りません。

今後共、我々の感染症科・感染管理室、そして市立大津市民病院が先生方の日々の診療の一助となれば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。





一般・消化器外科の紹介

一般・消化器外科 診療部長: 廣川 文鋭



当診療科は全ての外科領域疾患に対応し、地域の方々の医療福祉に貢献できるように日々努力しています。また24時間オンコール体制により、虫垂炎、腹膜炎や単径ヘルニア嵌頓などに対する緊急手術に備える一方、食道がん・胃がん・大腸がんなどの消化管がん、肝臓がん・膵がんなどの肝胆膵領域がんに対し、ガイドラインとエビデンスに基づいたハイレベルな外科治療を、患者さんひとりひとりのご要望に応じて提供できるよう、工夫しています。ヘルニア、肛門疾患（痔疾、直腸脱）などの身近な疾患にも力を入れています。

最も力を入れているポイントは、徹底した低侵襲手術を心がけていることです。患者さんに痛みやダメージを与えない内視鏡手術をあらゆる領域で積極的に導入しており、他院と比べても内視鏡手術の比率はかなり高いものとなっています。また当院には日本内視鏡外科学会技術認定医も在籍しており、胃がん・結腸・直腸がんに対するロボット支援手術も行っています。さらに当院の放射線治療の導入に伴い、がんに対する集学的治療を完全に行える体制が整っています。

当診療科は日本外科学会専門医制度修練施設・指定施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設・認定施設です。日本内視鏡外科学会技術認定医および日本肝胆膵外科学会高度技術指導医も在籍し、各学会専門医・指導医が患者さんの治療を行うと同時に、外科を志す研修医・外科専門医・消化器外科専門医の育成も行っています。※また当科は大阪医科薬科大学消化器外科学教室の関連施設として、スタッフの交流や医療情報の交換を活発に行っています。

当科ではあらゆる外科領域の疾患に対して24時間対応できる体制をとっております。昼夜を問わず虫垂炎や腸閉塞など緊急手術を要する場合でもご遠慮なくご相談ください。

スタッフ紹介

医師名	職名	専門領域
ひろかわ 文鋭 廣川 文鋭	診療部長	消化器外科・内視鏡外科・肝胆膵外科
おおすみ わたる 大住 渉	医長	消化器外科・内視鏡外科・下部消化管外科（大腸肛門外科）
かごた しゅうじ 駕田 修史	医長	消化器外科・肝胆膵外科
みやま はなこ 深山 華子	専攻医	消化器外科



深山 駕田 廣川 大住





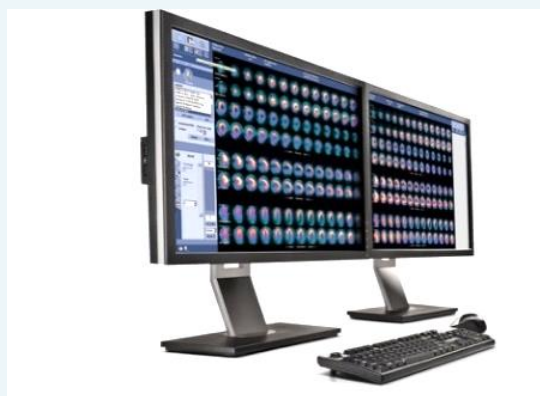
核医学画像診断装置が新しくなりました

核医学診断用検出器回転型 SPECT 装置 NM830

当院では、GE ヘルスケア製の高性能核医学画像診断装置を導入しました。

この製品は、検出器や撮影テーブルの動きを従来に比べ滑らかにスピーディに改善。

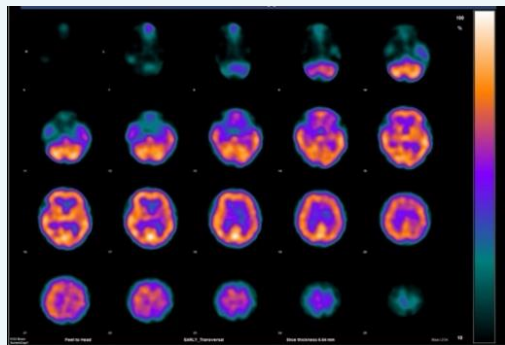
また高画質を保ちながら撮影時間の短縮に効果を発揮する最新のソフトウェアを搭載しており、検査を受けられる方の負担を減らしつつ病変描出能の向上を実現する工夫が施されています。



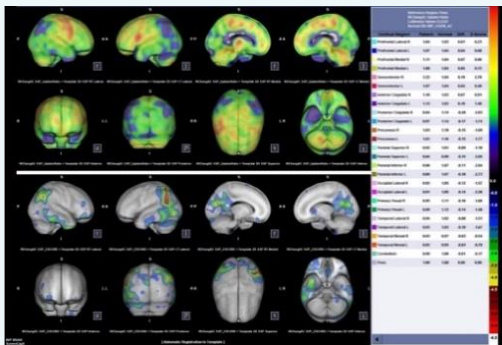
核医学検査とは、ごく微量の放射性医薬品を用いて病気の診断をする検査法です。

体内に投与された放射性医薬品の分布を画像化したり、数値化することで、疾病の診断、血流や代謝などの機能情報を早期に捕らえることができます。また検査に使用される薬も半減期が短いため、放射線による被ばくも少なく、苦痛も少ない低侵襲の検査です。

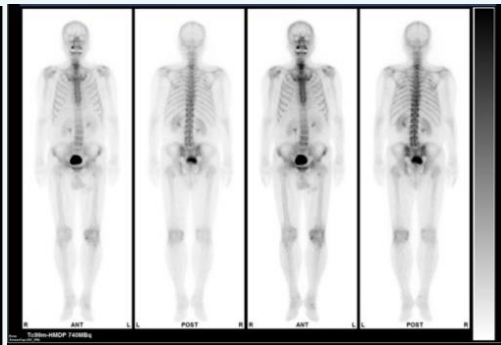
当院の核医学検査による画像例



脳血流 SPECT 検査



脳血流画像解析



骨シンチ検査

MSW アイコさん



作・画 ききろん



※マスクは外して描いています